

# 会 議 録

◇詳細—文化観光課観光交流グループ 電話03-3981-1316

附属機関又は 会議体の名称		第2回（仮称）マンガの聖地としまミュージアム整備検討会議
事務局(担当課)		文化商工部文化観光課
開催日時		平成28年10月7日(金) 19時00分～21時00分
開催場所		豊島区役所1階としまセンタースクエア
会議次第		1 開 会 2 区長挨拶 3 議 事 (1)地域への説明状況について (2)南長崎花咲公園での整備について (3)（仮称）マンガの聖地としまミュージアムでの展示内容等事業展開について （ワークショップ形式による）
公開の 可否	会議	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 非公開・一部非公開の場合は、その理由
		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 非公開・一部非公開の場合は、その理由
	会議録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 非公開・一部非公開の場合は、その理由
		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委員	里中座長、秋田副座長、幸森委員、鈴木委員、水野委員、山内委員、栗原氏（阪下委員代理）、足立委員、蒔田委員、寺田委員、羽場委員、酒井委員、小出委員、小林委員、東澤委員、石橋委員、小澤委員、石井委員、上野委員、小椋委員、小堤委員 計21名 オブザーバー：一般社団法人マンガジャパン（山田氏、木村氏） 欠席者 丸山委員、湯本委員、よこた委員、保木井委員、近藤委員、樋口委員 計6名
	事務局	文化商工部文化観光課

## 審議経過

**委員Y：** 定刻になりましたので、ただいまから第2回（仮称）マンガの聖地としまミュージアム整備検討会議を開催させていただきます。まず、高野之夫区長のご挨拶をお願いいたします。

**高野区長：** 皆様こんばんは。遅い時間に遠くまでお越しいただきありがとうございます。9月7日に開催されました第1回検討会議に引き続き委員の皆様にはお忙しい中ご出席賜り、改めて厚く感謝と御礼を申し上げます。ありがとうございます。第1回目では限られた時間で皆様の思いをざっくばらんにお聞きしました。今回は、ワークショップを行うと聞いております。テーマごとに時間を区切って意見交換を行うとのことで、皆様からたくさんのアイデアをいただき議論が深まる事を期待しております。このような事はあまりないことですので、テーマごとに意見を交わす素晴らしい取り組みではないかなと思っております。

また、現在、トキワ荘通りお休み処でトキワ荘に関する基礎調査の報告の展示として、トキワ荘の図面や室内のスケッチ、模型などを分かりやすく解説をしております。特に、鈴木先生の部屋のスケッチについてはご自身の描き下ろしとなっておりますので、ぜひご覧になっていただきたい。先日10月1日に豊島区に色々ご協力をいただいた功労者の表彰を行いました。こちらは大変格式の高いもので、福祉など様々なご貢献いただいた方を表彰しております。その表彰式に先立ち記念講演を行っているのですが、今回は鈴木伸一先生にお越しいただきました。先生からは、トキワ荘から始まったマンガとアニメというテーマで、大変貴重な写真等を交えてお話しいただきました。100名近い参加者の、トキワ荘に思いの深い色々な方々から素晴らしい会でしたとお褒めの言葉をいただきました。皆さまから色々な面でお力添えをいただき、着々と目標に向かって一步一步進んでいるのではないかなと思っております。特に、里中先生には座長として、頭の下がる思いです。今後も、マンガの聖地としまミュージアムの整備を積極的に進めていきたいと思っております。お話し長くなり恐縮でございます。12月10日には、トキワ荘通りお休み処開設3周年を記念したイベントと共に、マンガのキャラクターをモチーフにした、マンガの聖地としまモニュメントのお披露目をする予定ですので、ぜひこちらにもご参加いただきたいと思っております。先日の水野英子先生の複製原画展示販売会では、水野先生直々のサインを頂きありがとうございました。大変大勢の水野先生のファンがいらっしやり改めて敬服いたしました。

さて、この検討会議では、皆様のご意見を伺いながら、着実にミュージアムの整備に向け進めていきたいと思っております。この度はお越しいただき改めて感謝申し上げます。どうかよろしくをお願いいたします。以上わたくしからの挨拶とさせていただきます。

**委員Y：** ありがとうございました。

それでは、マスコミの皆様、撮影はこれまでとさせていただきます。以降、マスコミ席にて傍聴いただけます。ここからは座長より進行していただければと思います。よろしく願い致します。

**委員A：** よろしく申し上げます。これから議事に入りますが、本日傍聴希望者はいらっしやいますでしょうか。

**委員Y：** 本日は2名傍聴となっております。

**委員A：** それでは議事に入ります。地域への説明状況についてですが、事務局から8月30日に開催した地域説明会の概要を説明していただきます。

**委員Y：** はい、それでは、お手元の資料2-1でご説明させていただきます。地域への説明会を8月30日19:00～20:30に行いました。場所は区民ひろば富士見台にて、当日の流れはこ

ちらの資料のとおり、計画についての説明の後、質疑応答を行い、参加者の皆様からご意見をいただきました。参加者は65名でした。質疑応答が12件、説明会終了後のアンケートの記載が33件と、合計45件のご意見を頂きました。主だったものをご説明させていただきます。

まず3番は、公園の場所についてのご意見です。南長崎花咲公園になぜ建てるのかというものです。同じようなご意見が4番や、そのほかにも何件か頂いております。区の考え方については、3番の豊島区からの回答をご覧いただければと思います。南長崎花咲公園はトキワ荘の跡地に近くトキワ荘通りに面しているため、公園の利用状況の調査を行った上で、現状は第1候補とさせていただいているという回答となっております。

また、5番には地域活性化についてのご意見を頂いております。こちらは区としては地域の皆さまと共にまちづくりを進めることで、来館者増加を目指して、町全体を活気づけたいという回答となっております。

また、8番は、全体の事業規模や経済効果、税金についてのご意見も頂戴しております。17番には、設備費用の開示は早めにして、税金は大切に使ってほしいというご意見も頂戴しております。こちらについては、現時点では維持管理を含め施設内容の基本計画を検討中であること、経費について現段階でお示しするのは難しいが、今後ランニングコストや経費について配慮しながら検討するという回答となっております。

また21番にも南長崎花咲公園に建設することへの反対や、メリットがない等のご意見を頂戴しております。今回頂いたこれらのご意見につきましては、区のホームページに公開し、区の回答もお示ししていきたいと思っております。説明会のご報告については以上となります。

**委員A：** 今の地域説明会の件で、ご意見ご質問はございますでしょうか。

一同： ～なし～

**委員A：** 後でゆっくりご確認ください何かあれば、事務局までお寄せいただければと思います。

続いて資料2-2「(仮称)マンガの聖地としまミュージアム整備検討会議通信ボリューム1」をご覧ください。こちらの資料について、事務局より説明をお願いします。

**委員Y：** 検討会議の進捗状況につきまして地域の皆様にお知らせする必要があるだろうということで、検討会議通信を作成致しました。こちらは南長崎地域、長崎地域の町会に配布し回覧していただきます。また、区の掲示板にも掲示予定です。地域説明会でもマンガについての取り組みをご存じない方もいらっしゃいましたので、広く地域の皆様に知っていただくためにも、情報提供をしていきたいと思っております。取り組みについては区のホームページでも公開予定です。

**委員A：** 今の説明でご意見ありますでしょうか。

一同： ～なし～

**委員A：** 短い時間で申し訳ありませんが、こちらも後程じっくりご覧いただければと思います。よろしくお願いたします。

それでは続きまして、豊島区立南長崎花咲公園での整備について、事務局よりご説明をお願いします。

**委員Y：** 資料2-3をご覧ください。先ほど地域説明会のご報告の中でもご紹介したように、南長崎花咲公園内にミュージアムを整備することに反対意見も頂いております。こういった状況ではありますが、現時点で、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催前までに整備、オープンすることを考えますと、区有地と考えていくほかなく、そうした中で南長崎地域の主な区有地をお示したのとなっております。

例えば、南長崎はらっぱ公園、南長崎スポーツ公園、落合南長崎駅前区有地、椎名町公園と

いう大きな公園もございますが、やはり南長崎の中心、トキワ荘のあった場所に近い場所ということで考えますと、現在記念碑「トキワ荘のヒーローたち」も設置しております南長崎花咲公園で整備するしかないかと区として考えております。南長崎花咲公園に整備することを前提にお考えいただければと思います。

**委員A：** いかがでしょうか。現地の方々の様々なご意見もあり、簡単に「はい、いいです」と言いづらくところもありますが、区の所有の土地であることと、最初はいろんな意見がでますので、今のところ、こちらの場所でもよろしいかお伺いいたします。こちらの場所ではまずいのではないかと、ご意見あればいただきたいと思っております。

**委員F：** トキワ荘に近い位置ということで、ほとんど決まっていると思い込んでいました。確かに、何をすることも反対意見はあるかと思っておりますが、ちょっと他の場所は考えられないなと思っております。こちらを進めるにあたり反対意見というのはどういうものなのでしょうか。

**委員Y：** 治安面や、他の用地を検討してほしいとのご意見も頂戴しました。区と致しましては、そういった皆様にも丁寧にご説明をしていく中でご理解していただくように努めていきたいと考えております。

**委員F：** まだ諸問題あるかもしれませんが、ここに決めていただけるとよいと思っております。

**委員A：** やはり住んでいる方々のご意見というのが1番ものを言います。区が所有しているということで進めやすい部分があると思っております。どんなことをやるにしても確かに100パーセント賛成ということは世の中にはないと思っておりますが、あとは区に頑張っていただきたいと思っております。やはり元住人の先生たちは気になりますでしょうか。

**委員H：** 最初に復元について聞いたときに、住んでいた身としてはNTTのところ、あそこが最高だと思えました。今のところでもいいと思っておりますけれども、目と鼻の先の場所で、思い出もあるので、まあマンション建つて聞いていますけれども。

**委員E：** まず、トキワ荘復元がいいのかどうかも考えていました。あまり新しい建物ではないので、みずぼらしくなるのでは。創るのであればもっと新しい感じの施設がいいのではないかと考えていました。トキワ荘については、建物のミニチュアで大きいものを作って、これはトキワ荘だということによいと思っております。

随分前から色々な先生のミュージアムができていますが、だんだん来る人が少なくなっています。私は杉並のミュージアムをやっておりますが、マンガというのは新しいものしか見ないと思っております。子どもも大人も。トキワ荘もだんだん記憶から薄れていくという気がしています。これは仕方がないことです。

つい先日、横山隆一記念まんが館に行ってきました。横山先生の下で働いていたのでとても懐かしくていいなと思えました。収蔵庫も見せてもらってよかった。行って4日後くらいに、マンガの専門学校で講演会をした際に、横山隆一さんを知っていますかと聞いたら誰も知らない。フクちゃんも知っているのは3～4人くらいです。そんなもんです。あれだけ有名だった方が今は誰も知らない。それは、手塚先生が来られてストーリー漫画へとガラッと変わったからです。今はストーリーの時代ですから、短いのはあまり流行らない。でも横山先生のマンガは、フクちゃんとお母さんのマンガです。とても明るく気持ちいいマンガなんです。横山先生自身がとても明るいんです。人が集まるのが大好きで、お正月もお花見などでも催し物があって、鎌倉の文士たちが集まってきた。映画関係者とか。非常に面白かったです。横山先生は文化人なので、大きいんです。それでも今は、ほとんどの人は忘れていきます。でも今年はフクちゃん80周年なので高知に行っただけです。だんだんマンガは忘れられていくものであると思っ

ています。ですから、僕は、トキワ荘をそっくり復元するのは、反対はしません。区長さんはとても熱心です。ただ、いいとは思いますが、ミュージアムを人が集まるものにするには、アクセスがよくなくちゃダメです。杉並はアクセスが悪いもので300～350人が来ますが、来ないときは100人を切ります。長くやっていけば少しずつですが外国にも知名度は広がりますので、トキワ荘という名前にするかどうか分かりませんが、マンガミュージアムとすれば、今のマンガも扱える。トキワ荘とすると、当時のマンガしか扱えないというのがあります。その辺を前は考えていました。

**高野区長：** 杉並のミュージアムとは連携を取ってやっていければと思います。できるだけ、回遊性もしながらマンガ全体の広がりをつくるようにしたい。うちだけで終わろうなんて考えはありません。

**委員A：** 正式名称は、仮称ですけども、トキワ荘というネーミングは使わずに「マンガの聖地としまミュージアム」です。座長の身ですが意見を言わせていただきます。横山先生の記念館は本当に素晴らしいですよ。素晴らしいのにどうして今の若い子が知らないかと言うと、日本においてマンガ文化というのは消費され続けてきました。しかしこれからはそういう時代ではなく、文化として捉え直すことが必要で今後長いスパンで考えた時に、もちろんトキワ荘だけではないですが日本独自の文化の発祥の象徴的なものとして、何かあると気づいてもらいたいと思います。

**委員E：** マンガというのは昔から歴史があるわけです。鳥獣戯画から始まったと言う人もいますが、鳥獣戯画は描かれた時はその周りしか知らなかったと思います。今、マスコミや印刷、テレビ等で取り上げられるからみんなが知るところとなったけれども。ロケットで言えばそこがスタート、マンガの歴史は出発したところ。そして手塚先生は2段目。そこで加速して、今宇宙にきました。そういう意味では、マンガということであれば賛成します。つまり、昔の歴史に目をつむるわけにはいきません。

**委員F：** 何をやるにしてもそうですが、作った後、その先の運営が心配です。ただ、トキワ荘の人たちが開発した戦後のマンガの表現というものは、それまでのものと全く違います。それが、今に繋がる源になっています。トキワ荘という名前は誰でも知っています。トキワ荘が興味や魅力を持たれる理由は、私のイメージですがひとつの共同体のような、本当に素晴らしいマンガの仲間だと思いました。ライバルではなく、お互いが高め合える、そういう場所でした。そういうスタイルはあそこで作られました。トキワ荘に魅力を持つ方は本当に多いので、トキワ荘という名前を外すのは反対です。この歴史というのを踏まえて、トキワ荘の歴史を中心に置いてしっかりと考えていただきたいと思います。

**委員A：** 補足になりますが、トキワ荘という名前の商標登録等の事情があります。正式な名前として全面に出しにくいというところがあります。ただ、中身を見ていただければ、トキワ荘の魂だということが分かるようにやっていきたいと思っています。

**委員H：** 長谷川町子先生のサザエさんは、テレビでやっているということもあるけれど、ますます隆盛です。トキワ荘は手塚先生が住んだことでみんなが集まって来て、そうそうたる先生方が住みついた。外観はどうでもいいと思うけど、中に四畳半を10個作って独特なミュージアムとして、リピーターを増やすよう整備するといいと思います。ますますブラッシュアップしていけば今後世界遺産になるのも可能だと思います。これだけマンガが世界中に流布して衰退することはないので。トキワ荘ありき、手塚先生ありきなので、絶対にトキワ荘＝手塚先生ということやるべきだと思います。

**委員F：** 戦後でマンガのスタイルというものはすごく変わりました。そこからこれだけ大きな広がりを見せた。その原点でありますので、ぜひ頑張っていたいただきたいと思います。

**委員L：** 先生方のトキワ荘に対する熱い思い、大変勉強になりました。ありがとうございます。私は、お休み処改装の際にお手伝いさせていただいた設計事務所を主宰しています。その時に思ったのですが、場所は既に決まっていますが、私の考えていたトキワ荘の復元というのは木造なので、実際には再現が難しいだろうという状況です。そうすると、どうすればいいのか。私は反対しているわけではありません。やっぱりシェルターの中にトキワ荘を復元すればいいのでは。ガラス張りなど。トキワ荘は部分的でもいいと思います。センターの中では色々なイベントが出来る、というようなことを考えていました。それにはかなりの広さがないといけないと思ってまして、そこは少し残念かなと思います。そこで一番大変なのは、トキワ荘という限られた空間、再現の中で、色々なことを付随すること。ここひとつだけが拠点になると難しく、色んな場所に繋がるような、インフラみたいなもの、マスタープランが必要なのではと思っていました。豊島区としては場所がないので南長崎花咲公園でいいかなとは思っております。そういうことを最初思っていたことを一応この場で述べさせていただきました。

**委員A：** 大きな建物があり、その中のワンフロアがトキワ荘というのが理想ではありますが、いずれそんなことができればなと思っております。色々なご意見、ありがとうございます。今のところ、こう進めていくという計画ということでよろしいでしょうか。

**一同：** ～賛同～

**委員A：** ありがとうございます。続きまして、第1回検討会議で出た意見に基づきまして、マンガ関連施設の追加調査を行っておりますので、事務局より報告をお願いします。

**事務局：** 各自治体からの担当窓口を通して、著作権の使用料や収蔵庫の状況について、全国11自治体にあるマンガ関連施設の調査を行いました。その結果を参考資料2-1にまとめました。情報提供元より一般への公表は控えるよう話がありましたので、取扱いにご注意ください。1枚目は総括表となっております。

まず収蔵庫の状況ですが、回答結果を3つに分類しています。マル、バツ、サンカクで表示しています。マルは温湿度管理が出来る施設、こちらは5施設。サンカクは保管施設はあるけれども一般空調で対応している施設、こちらは3施設。バツは特別に資料の保管スペースはないというところで、借りたらすぐに展示したり他のスペースを一時的に空け保管しているという施設になっています。

また、著作権料について、お示しできる範囲でとりまとめました。またお時間があるときにご確認いただければと思います。

**委員A：** それでは次に進ませていただきます。議事の3番目、「(仮称)マンガの聖地としまミュージアム」の展示内容等、事業展開についてワークショップ形式で検討を行いたいと思います。事務局から説明をお願いします。

**委員Y：** 資料2-4でございます。こちらは、前回皆様にお配りしたものと同じものです。基本計画の案を作成するにあたり論点を5つ挙げております。地域説明会でもミュージアムについてのご意見が出ております。また、前回こちらの資料をお示しした際に皆様からご意見を頂戴しましたので、今回はこの論点をテーマとして設定をさせていただきました。資料2-5になりますが、事前に委員の皆様にお送りしたものです。

今回、短い時間にも関わらず委員の皆様にはご回答いただきまして、ありがとうございます。予めいただいたご意見も踏まえながら、この後グループ分けをさせていただき、少人数の中で

議論を進めていければと思います。何点か修正や差替えがございますが、ただ今お配りした資料をお使ください。

**委員A：** それではこれからグループ分けをして、議論いただきたいと思います。後方の4つのテーブルに分かれてご着席ください。まとめ役として係の者がいますので、ワークショップの進め方については席を移動してから説明したいと思います。申し訳ありませんが、資料とお茶をお持ちになり、ご移動をお願いいたします。

**委員Y：** ワークショップグループ分けという資料をお配りさせていただいております。そちらをご確認いただきお席をご移動ください。

～ワークショップ～

**委員A：** 皆様お疲れ様でした。

それでは、終了の時間となりますが、次回の日程について事務局から連絡をお願いします。

**事務局：** 次回の日程について、ご連絡いたします。年内に開催する予定の第3回及び第4回の日程について、決定させていただきたいと存じます。

【次回、次々回日程調整】

**委員A：** 11月15日と12月13日に決定致します。12月は、10日のイベント後すぐではあります、ぜひご参加お願い致します。詳細は、あらためて、開催通知にてご連絡いたします。

本日は、貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。

ご協力に感謝いたします。それでは、第2回（仮称）マンガの聖地としまミュージアム整備検討会議についてはこれで終了とさせていただきます。

以上

提出された資料等	<p>【資料】</p> <p>資料2-1 (仮称)マンガの聖地としまミュージアム(トキワ荘復元施設) 整備計画説明会 開催報告</p> <p>資料2-2 (仮称)マンガの聖地としまミュージアム整備検討会議通信 vol.1</p> <p>資料2-3 南長崎地域 区有地(一部)の現況</p> <p>資料2-4 (仮称)マンガの聖地としまミュージアム 施設整備に向けた論点について</p> <p>資料2-5 ワークショップの進め方(案)</p> <p>資料2-6 ワークショップでの検討項目</p> <p>【参考資料】</p> <p>参考資料2-1 マンガに関する主要な博物館の機能について</p>
----------	---